

「他に偽造疑いなし」

耐震強度偽造

05.12.6
神

姫路市建築
確認の322件
02—05年度再確認

られる。

姫路市南駅前町のビジネスホテル「ヴィアイン姫路」で耐震強度偽造の疑いが浮上した問題で、同市は五日、二〇〇二—〇五年度に建築確認を行い、構造計算書の提出が必要な建物三百二十二件について、書類上で再確認した結果、姉齒建築事務所の関与や偽造の疑いは見つからなかったことを明らかにした。

(佐々木道哉)

同日の定例市議会本会議で、瀧川吉弘・都市局長が答弁した。

瀧川局長は「市の建築確認を受けたホテルが営業休止することになり、誠に遺憾で申し訳ない」と陳謝。「検査体制の強化が必要」と述べたが、県が予定している構造計算プログラムの導入については未定とした。

同市は、学校やホテル、

病院、百貨店など確認申請時に構造計算書の添付が必要な建物を対象に現在構造計算書を再確認している。確認申請書が残る二〇〇〇年度分までが対象で、本年度から〇二年度分までの確認を終えた。

市によると、建築確認業務が民間に開放された九九年度以降、市の審査件数は激減。〇〇年度は

市が三千四百五十三件(98・9%)、民間の指定確認検査機関が三十九件(1・1%)だったのに対し、昨年度はそれぞれ二百三件(6・2%)、三千六十五件(93・8%)となった。

同市の建物を取り扱う指定確認検査機関は現在二十七社で、民間の審査件数増加の背景には低料金や土曜営業があるとみ